



研究便り



令和8年4月14日
研究推進便り No.1
文責：研究主任

★第一回 校内研究全体会 ありがとうございました★

4月8日(水)の校内研究では、今年度の研究の方向性を共有するとともに、各学年での話し合いを中心に進めました。今年度も「おおたの未来づくり」を軸に捉え、これまでの実践の積み重ねを生かしながら、より学びを深めていくことを大切にしていきます。

◇各学年での話し合い

各学年では、目指す児童像をもとに今年度の課題設定を検討しました。限られた時間の中ではありましたが、各学年で活発的に意見交換が行われ、生活科・総合的な学習の時間やおおたの未来づくりの単元構想について、じっくり検討することができました。

主な話し合いの内容は以下の通りです。

<1年生>

幼稚園との交流や地域との関わりを通して、身近な人や場と関わりながら学ぶ活動を重視する。また、公園巡りなどを通して、マナーやかかわり方についても育てていく。

<2年生>

町探検を繰り返し行うことで、地域との関わりを広げていくとともに、人との関わりに課題がある実態を踏まえ、関わり方を意識した学習を進めていく。

<5組>

栽培活動を通して、地域の方に見ていただく機会を設ける。また、伊豆高原での移動教室の経験を生かし、ものづくりの活動につなげていく。

<3年生>

児童像に「地域や周りの人との関わり」を位置付け、地域安全マップの活用を通して、伝える力や表現する力を育成する。また、ICTを活用した発信にも取り組む。

<4年生>

これまでの課題を踏まえ、「どうする大田区」などテーマの焦点化を図るとともに、交流活動を通して学びを深めていく。

<5年生>

図書館との連携を生かし、読む工夫や発信活動に取り組む。おすすめの本の紹介や冊子づくりを通して、学びを広げていく。

<6年生>

地域創生をテーマに、地域の良さを伝える活動を展開する。体験活動をもとに、地域の魅力を発信する表現活動の充実を図る。

◇今後に向けて

各学年において、地域との関わりや対話、表現を意識した取り組みが多く見られ、今年度の研究の方向性につながる視点が共有されました。

今回の全体会で整理された内容をもとに、各学年での実践を積み重ねていけたらと考えています。今後は、研究授業や協議会を通して、こどもたちの姿や学びの変容を丁寧に見取りながら、学びを共有していけたらと思います。日々の授業に生きる研究となるよう、校内全体で取り組んでいけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。